

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.3

令和7年9月4日

まぐろ経済学・環境学 vol 1.0

夏休みも終盤にさしかかった8月 20 日(水)に逗子・三浦・葉山合同夏季初任者研修の1日目が行われました。午前中に講義・演習があった後、うりり周辺にてそれぞれ昼食を食べ、午後は城ヶ島に移動しました。



城ヶ島の恵水産の石橋匡光社長にはもう5年連続でお世話になっていますが、毎年アップデートされたお話を聞かせていただくことができます。今回のお話のタイトルは「まぐ

ろ経済学・環境学 vol 1.0」です。まぐろを中心に世界の環境や社会問題を考えていくことを指します。

マグロ絶滅危機ランクの引き下げ、温暖化の影響とみられる漁獲地の変化、50 年先のまぐろと私たちの未来を見据えた様々な取組などについてご講義いただきました。

大変勉強になるお話でしたが、中でも印象に残っているのが、「教科書などでは日本の第一次産業は衰退傾向にあると教えられ、メディアも注目されるからとネガティブな内容中心に報道しているが、必ずしもそうではない。しかし、その情報を受け取った今の子どもたちは、おそらく第一次産業に就こうとしなくなってしまう…」といったものでした。実際、世界基準で見ればまぐろの消費量は高まっており、英語が話せる寿司職人になれば、大儲けができる可能性が高いとのことでした。

視野を狭めることなく、広く新しい情報をつかんで教育にあたりたいものです。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、学校教育課まで 046-882-1111 (内線404)

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.2

令和7年8月 28 日

宮川湾で Feel 度 Walk!

よく晴れた6月 12 日(木)、岬陽小学校の4年生が宮川湾での校外学習(「Feel 度 Walk」)を行いました。

授業の前半は磯の生き物だけでなく、落ちているものや景色にも目を向けて、気に入ったものを探しました。そして授業の後半では、対象の生き物や拾ったものをえんぴつでスケッチしていきました。学校に戻ってからではなく、見付けた感動そのままにすぐに描き出すことで、より生き生きとした作品を作ることができていました。

生き物の紹介や注意点の説明役として学校教育課の担当者も同行し、子どもたちは興味深く話を聞いていました。

また、保護者の方々にも参加を呼びかけ、学習の様子を見ていただくとともに、安全への配慮もお願いすることができていました。

子どもたちは時間いっぱいまでいろいろなものを発見し、沢山歩き回り、充実した時間を過ごすことができました。



みうら学・海洋教育に関する
お問い合わせは、学校教育課まで
046-882-1111 (内線404)

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.1

令和7年6月 30 日

統合後初！ 南下浦小学校 全校 砂工作

5月23日（金）、南下浦小学校の全学年の子どもたちが、統合後初の全校砂工作を行いました。昨年度に比べ約40名の児童が増えたことで、6グループだった縦割り班を今年度は8グループで編成し、A～H 各グループ仲良く元気に協力して、楽しみながら砂工作に取り組み、素敵な作品を創り上げました。

郷土みうらの豊かな自然に親しむとともに、仲間とつくる楽しさを味わったり、異学年の子との交流を深めたりすることもできました。



A グループ えななみくんとサンドマン



B グループ ペンギン



C グループ Sea シャーク



D グループ シロイルカ



E グループ クリオネ



F グループ ジンベイザメ



G グループ クラゲとヤドカリ



H グループ シャチ

みうら学・海洋教育に関する
お問い合わせは、学校教育課まで
046-882-1111（内線404）